

平成28年第4回玄海町議会定例会会議録

招 集 年 月 日	平成28年12月12日（月曜日）								
招 集 場 所	玄 海 町 議 会 議 場								
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開 会	平成28年12月12日午前10時00分			議 長	上 田 利 治 君			
	散 会	平成28年12月12日午前10時42分			議 長	上 田 利 治 君			
応（不応）招議 員及び出席並び に欠席議員 ○ 出 席 × 欠 席 × 不応招 出 席 11名 欠 席 0名	議席 番号	氏 名		出 席 等 的 別	議席 番号	氏 名		出 席 等 的 別	
	1	井 上 正 旦 君		○	2	山 口 定 君		○	
	3	脇 山 奉 文 君		○	4	池 田 道 夫 君		○	
	5	脇 山 伸 太 郎 君		○	6	友 田 国 弘 君		○	
	7	中 山 昭 和 君		○	8	古 舘 義 純 君		○	
	9	欠 番			10	岩 下 孝 嗣 君		○	
	11	藤 浦 皓 君		○	12	上 田 利 治 君		○	
	会議録署名議員	6 番 友 田 国 弘 君			5 番 脇 山 伸 太 郎 君				
	地方自治法第 121条第1項に より説明のため 出席した者の職 氏名	町 長	岸 本 英 雄 君			副 町 長	鬼 木 茂 信 君		
		教 育 長	小 柳 勉 君			会 計 管 理 者	小 山 康 人 君		
		管 理 統 括 監	西 立 也 君			政 策 統 括 監	池 田 正 彦 君		
		総 務 課 長	綾 部 保 基 君			財 政 企 画 課 長	杉 谷 裕 子 君		
税 務 課 長		井 上 新 吾 君			住 民 福 祉 課 長	中 山 昇 洋 君			
保 健 介 護 課 長		寺 田 美 由 妃 君			産 業 振 興 課 長	山 口 清 二 君			
ま ち づ くり 課 長		松 本 恵 一 君			生 活 環 境 課 長	脇 山 典 久 君			
教 育 課 長		中 村 大 輔 君							
職務のために議 場に出席した者 の氏名		事 務 局 長		脇 山 和 彦		議 会 事 務 局 係 長		熊 本 秀 樹	

平成28年第4回玄海町議会定例会議事日程（第1号）

平成28年12月12日 午前10時開会

- 日程1 会議録署名議員の指名について
- 日程2 会期の決定について
- 日程3 議長の諸報告
- 日程4 町長の行政報告
- 日程5 議案第65号 玄海町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定
について
- 議案第66号 玄海町基金設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第67号 玄海町子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条
例の制定について
- 議案第68号 玄海町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第69号 玄海町教育長の任命について
- 議案第70号 平成28年度玄海町一般会計補正予算（第5号）
- 議案第71号 平成28年度玄海町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 議案第72号 平成28年度玄海町介護保険特別会計補正予算（第2号）
- 議案第73号 平成28年度玄海町下水道事業特別会計補正予算（第2号）
- 議案第74号 平成28年度玄海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 議案第75号 平成28年度玄海町水道事業会計補正予算（第2号）

午前10時 開会

○議長（上田利治君）

おはようございます。ただいまの出席議員は11名であります。定足数に達しておりますので、これより平成28年第4回玄海町議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本定例会に執行部から議案の送付がされておりますので、職員に朗読させます。

○議会事務局長（脇山和彦君）

〔朗読省略〕

○議長（上田利治君）

本日の議事日程につきましては、あらかじめお手元に配付しております議事日程表によって御了承方お願いいたします。

日程 1 会議録署名議員の指名について

○議長（上田利治君）

日程 1. 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第108条の規定により、6番友田国弘君、5番脇山伸太郎君を指名いたします。

日程 2 会期の決定について

○議長（上田利治君）

日程 2. 会期の決定についてを議題といたします。

本定例会の会期は、本日12月12日から20日までの9日間とし、本会議を12日、15日及び20日の3日間、委員会を16日及び19日の2日間、休会を13日から14日及び17日から18日までの4日間といたしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

御異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は本日12月12日から20日までの9日間とすることに決定いたしました。

日程 3 議長の諸報告

○議長（上田利治君）

日程 3. 議長の諸報告を行います。

地方自治法第235条の2第3項の規定による監査委員からの例月出納検査の報告と本年9月から11月までの玄海原子力発電所の運転状況等の報告につきましては、お手元に配付しております書類により御了承方お願いいたします。

まず、10月12日から14日までの3日間、佐賀県町村議会議長会の議長行政視察として、香川県直島町及び兵庫県佐用町の行政視察を行いました。

直島町では、環境とアートをテーマにしたまちづくりへの取り組みや地方創生への取り組み等の説明をいただき、「自然・建築・アートの共生」をコンセプトに設計された施設の視

察を行いました。

佐用町では、佐用町役場を訪問し、住民と行政の協働のまちづくりへの取り組みについて研修したところでございます。

次に、10月28日に佐賀県町村議会議長会の議長会議が佐賀市で開催され、出席いたしました。

会議では、まず、全国町村議会議長会特別表彰者の推薦について協議を行い、吉野ヶ里町の伊東議長とみやき町の平野元議長を推薦することに決定いたしました。

次に、第60回町村議会議長全国大会及び平成29年度本会負担金について協議を行い、承認されたところでございます。

次に、11月9日に第60回町村議会議長全国大会が東京のNHKホールで開催され、出席いたしました。

大会では、飯田会長が挨拶に立ち、被災地復興と並行した大規模災害対策の推進、地方創生の実現による強靱な国土の形成、地方創生実現のために必要な経費の確保、町村議会議員の人材確保に資するための方策の推進など、町村と町村議会にかかわる喫緊の課題について対策を施すよう国に要請した上で、我々町村議会も議会改革に努め、住民の信託に応えられる議会を構築していくとの決意を表明されました。

その後、松尾副会長が大会の意義を鮮明にするための宣言文を読み上げられ、会場は賛同する満場の拍手に包まれました。

来賓の祝辞では、安倍内閣総理大臣が地方の活力なくして日本の活力なし、地方の未来を切り開いていくことなくして日本の未来はないと述べられ、地方の意見を受けとめながら、地方の努力を応援していく姿勢を示されました。

議事は要望事項34件、当面する重点要望3件が提案され、それぞれ満場一致で決定されました。

大会終了後に「究極のチームワーク・リーダーシップ」と題して、教育コメンテーターの武田美保氏による特別講演が行われたところでございます。

最後に、11月25日に全国原子力発電所所在市町村協議会全体会議が東京で開催され、岸本町長と出席いたしました。

全体会議の詳細につきましては後ほど町長から報告があると思いますので、省略いたします。

以上をもちまして議長の諸報告を終わります。

日程 4 町長の行政報告

○議長（上田利治君）

日程 4. 町長の行政報告を求めます。岸本町長。

○町長（岸本英雄君）

おはようございます。本日は平成28年第4回玄海町議会定例会を招集しましたところ、議員の皆様には大変御多忙の中に御出席をいただき、まことにありがとうございます。

それでは、9月定例会以降、今日までの主なものについて行政報告を申し上げます。

まず、9月28日から30日の日程で町村会の町長行政視察に町村会副会長として出席をしてまいりました。

視察先は宮城県加美郡色麻町でございます。

色麻町は宮城県の内陸部、仙台市の北に位置をし、人口が7,400人、典型的な農業の町でございます。年間予算が40億円前後であるにもかかわらず、定住化、子育て支援及び結婚支援に積極的に取り組まれており、平成22年と平成27年の国勢調査結果では人口減が2.6%しかなく、世帯数においては逆に2.6%増加しており、一定の効果が上がっているとのことでございました。

特に、定住施策に特色があり、北海道の標津町、浜頓別町、八雲町などの先進事例を参考に、町が保有する宅地を町外から町に永住したい希望者に対して無償で譲渡したり、小学校跡地を宅地整備し、格安で提供するなどの事業に取り組まれておりました。

また、活性化住宅として、町が土地を提供し、民間がアパートを建設、町が一括して借り上げて、町外からの転入者に優先して転貸するというユニークな事業も展開されており、今後の玄海町の定住施策の参考にしたいと思ったところでございます。

次に、10月17日、佐賀市において佐賀県GM21ミーティングが開催され、出席をいたしました。

会議では、市長会提案テーマとして、国保事業運営に対する財政支援及び広域化後の税負担の激変緩和等、企業版ふるさと納税等を活用した返還不要の奨学金や奨学金返還のための支援策等の創設、県提案テーマとして、平成35年開催の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の概要についての協議がなされ、最後に、玄海原子力発電所3、4号機の再稼働に係る意見交換を行いました。

次に、10月20日、佐賀県市長会、県町村会から国への要請活動が開催され、山口知事を初め、県内各市町の首長とともに参加をいたしました。

まず、山本有二農林水産大臣に対し、魅力ある農業農村の実現に向けた農業農村整備事業の推進及び国営土地改良事業の促進について、次に、財務省主計局・角田隆総務課長に対し、佐賀空港の駐機場拡張予算の配分について、最後に、国土交通省・田端浩審議官に対し、将来の活力ある佐賀県の実現に向けた社会資本整備の推進について、それぞれ詳細な資料を示して要望を行ってまいりました。

次に、11月1日、玄海町と株式会社佐賀銀行とのまち・ひと・しごと創生に関する連携協定を締結いたしました。

この連携協定は、玄海町と佐賀銀行が相互に連携、協力し、玄海町のまち・ひと・しごと創生及び好循環を確立することで、人口減少の問題克服及び地域経済の活力維持を図ることを目的としたものでございます。

今後、この協定に基づき、観光の振興、農林水産業の成長産業化に関すること、定住の促進などについて相互に連携を図ってまいる予定といたしております。

次に、11月14日、海洋教育促進拠点に係る東京大学との協定書に調印をいたしました。

この協定は、玄海町が海に面し、海とかわりの深い土地であることから、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターと連携をし、玄海町の海洋環境の保全や地域の特性を生かした子供たちの海に親しむ教育などに取り組むことを目的としたものでございます。

今後、この協定に基づき、漁協との連携や学校の海洋教育カリキュラム整備等を予定いたしております。

次に、11月15日、東京都内で町長会例会が開催され、出席をいたしました。

会議では、平成29年度市町法令外負担金についての協議がなされ、通常団体の負担金については平成28年度額を上限とし、経費削減に努め、翌年度繰り越し金額を極めて多い1団体については前年比90%を上限とする。通常団体以外の負担金についても前年同額とするとの決定がなされました。

また、税制改正に係る地方税財源の確保に関し、佐賀県選出の自民党国会議員に対する要請内容について協議を行ったところでございます。

次に、11月16日、全国町村長大会がNHKホールで開催をされ、出席をいたしました。

大会では、政府に対し、町村が自主的、自立的にさまざまな施策を展開し得るよう、一つ、

東日本大震災及び平成28年熊本地震からの復興の加速化をはかるとともに、全国的な防災・減災対策を強力に推進すること、一つ、一億総活躍社会の実現に向け、地方創生を推進すること、一つ、地方分権改革を推進すること、一つ、道州制は導入しないこと、一つ、「まち・ひと・しごと創生事業費」を拡充するとともに、歳出特別枠を堅持し、地方交付税等の一般財源の総額を確保することなど、9項目を重点決議いたしました。

また、参議院の合区の早期解消に関する特別決議を行い、さらに、町村自治の確立、町村財政基盤の確立、地方創生の実現に向けた国土政策の推進、医療、福祉、教育、農林業、水産業対策等の推進、過疎、豪雪、半島、離島地域振興の推進、北方領土の早期返還、竹島領土権の確立、尖閣諸島海域における領海侵犯についてなど、33項目について、国に対し、その実現を強く求める重点要望が採決されたところでございます。

次に、11月17日、国保制度改善強化全国大会が明治神宮会館で開催され、出席をいたしました。

大会では、国保制度は創設以来、国民皆保険体制の中核を担い、地域医療の確保や健康の維持、増進に貢献をしてきたが、加入者の高齢化に伴う医療費の増加が著しい一方で、加入者の所得水準が低いため、保険税の負担率が著しく高いという構造的な問題を抱えていますという現状を踏まえ、国に対し、国保制度の健全な運営が図れるよう、一つ、医療保険制度の一本化を早期に実現すること、一つ、子どもの医療費助成等の地方単独事業実施に係る国庫負担金・調整交付金の減額措置を直ちに廃止すること、一つ、平成30年度から都道府県が国保事業の健全な運営について中心的な役割を果たすことができるよう、公費投入は遅滞なく確実に実施するとともに、保険者が共同して設立した国保連合会の積極的な活用を図ることなど、10項目の決議がなされました。

次に、11月22日、東京都内において第1回玄海地域原子力防災協議会が開催をされ、出席をいたしました。

本協議会は、国の原子力防災会議の決定に基づき、内閣府政策統括官が原子力発電所の所在する地域ごとに設置するものであり、設置の目的としては、県や市町村が作成する地方防災計画や避難計画の具体化、充実化を支援するための課題解決のワーキンググループでございます。

会議では、内閣府・平井政策統括官より本協議会の趣旨が説明をされ、次に、内閣府・奥村地域原子力防災推進官により玄海原子力発電所に起因する原子力災害に関し、災害対策重

点区域を含む佐賀県、長崎県、福岡県及び関係市町の地域防災計画や国の緊急時対応を取りまとめた概要説明が行われました。

引き続き関係者への対応状況の確認と自治体等からの質疑と意見交換が行われ、最後に、平井政策統括官より本協議会として玄海地域の緊急時対応については原子力災害対策指針に照らして具体的かつ合理的な内容になっていることが確認できたとの宣言がなされ、閉会いたしました。

最後に、11月25日、東京都において全国原子力発電所所在市町村協議会全体会議が開催されましたので、上田議長とともに出席をいたしました。

国との意見交換会では、エネルギー構造転換理解促進事業費補助金の用途拡大について、本事業で整備した施設の維持運営費についても対象としてほしいとの意見や、産業育成や観光産業などの事業にも本補助金を活用できるよう柔軟な運用をお願いしたいとの意見が出されました。それに対し、自治体の意見を聞きながら柔軟に対応していきたいという回答があったところでございます。

以上で行政報告を終わります。

日程5 議案第65号 玄海町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

議案第66号 玄海町基金設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第67号 玄海町子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第68号 玄海町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第69号 玄海町教育長の任命について

議案第70号 平成28年度玄海町一般会計補正予算（第5号）

議案第71号 平成28年度玄海町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

議案第72号 平成28年度玄海町介護保険特別会計補正予算（第2号）

議案第73号 平成28年度玄海町下水道事業特別会計補正予算（第2号）

議案第74号 平成28年度玄海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

議案第75号 平成28年度玄海町水道事業会計補正予算（第2号）

○議長（上田利治君）

日程5. 議案第65号 玄海町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定についてから議案第75号 平成28年度玄海町水道事業会計補正予算（第2号）までの以上11件を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。岸本町長。

○町長（岸本英雄君）

それでは、提案しております議案について提案理由の説明を申し上げます。

条例の一部改正が4件、人事案件が1件、平成28年度会計の補正予算が6件、合わせて11件でございます。

議案番号順に申し上げていきたいと思っております。

まず、議案第65号 玄海町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について御説明を申し上げます。

人事院及び佐賀県人事委員会勧告に伴う勤勉手当等の改定、地方公務員育児休業法の改正による育児休業等の対象となる「子」の範囲の見直し、育児介護休業法の改正による介護休業の分割取得及び介護のための所定労働時間短縮措置の実施に伴い、関係条例の改正を行うものでございます。

本条例は、関連する複数の条例を改正する、いわゆるまとめ条例として上程させていただいておりまして、改正する条例といたしましては、玄海町職員の給与に関する条例、玄海町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例、玄海町町長、副町長及び教育長の諸給与条例、玄海町教育委員会教育長の給与及び旅費に関する条例、一般職の任期付職員の採用等に関する条例、技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例、玄海町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例、玄海町職員の育児休業等に関する条例、玄海町職員の勤務時間、休暇等に関する条例、以上9本でございます。

次に、議案第66号 玄海町基金設置条例の一部を改正する条例の制定については、原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金で行う事業を基金事業として実施するため、玄海町原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金基金を設置し、子どもの医療費助成

事業及び教育関連施設運営事業に積み立てようとするものでございます。

またあわせまして、玄海町電源立地地域対策交付金で行う事業に農業用排水施設管理事業、仮屋漁港漁船係留施設整備事業、内水対策（新田地区）整備事業及び消防防災維持運営事業を追加させていただくものでございます。

次に、議案第67号 玄海町子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定については、子どもの医療費の現物給付の助成対象を拡大することにより疾病の早期発見と治療を促進し、保健の向上と福祉の増進及び少子化対策の一つとして、子育て世代への経済的支援の充実を図るため、本条例の所要の改正をしようとするものでございます。

次に、議案第68号 玄海町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定については、学校教育法等の一部を改正する法律が平成27年6月24日に公布され、平成28年4月1日から施行されたことを踏まえまして、小中一貫教育を行っている玄海町立玄海小学校及び玄海中学校の設置にかえて、心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育を基礎的なものから一貫して施すことを目的とする義務教育学校として設置するため、本条例も所要の改正をしようとするものでございます。

次に、議案第69号 玄海町教育長の任命については、玄海町教育長に次の者を任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

提案理由といたしましては、玄海町教育委員会教育長である小柳勉委員が平成29年1月31日をもって任期満了となるため、新教育委員会制度に基づく玄海町教育長として中島安行氏を任命するものでございます。

次に、補正予算でございますが、議案第70号 平成28年度玄海町一般会計補正予算（第5号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ631,308千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を8,397,293千円とするものでございます。

歳入補正予算の主なものといたしましては、13款国庫支出金、2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金の電源立地地域対策交付金718,896千円の増額は、電源立地地域対策交付金の申請額が確定したことにより交付限度額の残額を補正するものでございます。

同じく1目総務費国庫補助金、原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金338,368千円の増額は、玄海1号機廃炉に伴う住民生活、経済及び社会に及ぼす影響を緩和するために地域活性化中・長期計画に基づき交付されるもので、この交付金を財源に、今回、子ども

の医療費助成事業及び教育関連施設運営事業に基金積み立てを行うものでございます。

次に、同じく 2 目民生費国庫補助金の臨時福祉給付金事務費補助金901千円及び臨時福祉給付金事業費補助金21,090千円の増額、これは消費税が 8 %から10%へ引き上げが 2 年半延期されたことを踏まえ、経済対策の一環として、社会全体の所得の底上げに寄与するとともに、低所得者の安心感を確保するため、臨時福祉給付金として平成31年 9 月までの 2 年半分を一括して国から交付されるものでございます。

これにあわせて、歳出予算にも経費として21,995千円を予算措置するものでございます。

次に、14款県支出金、2 項県補助金、4 目農林水産業費県補助金、佐賀県タマネギべと病緊急特別対策事業費補助金590千円の増額は、今年度、大規模発生したべと病対策として、防除効果が高い予防剤の散布を中心とした薬剤防除体系への転換を図るため、予防剤購入等に対し補助金を交付するもので、県が50%、町が10%補助するものでございます。

次に、16款寄附金、1 項寄附金、4 目ふるさと応援寄附金の555,523千円の減額は、熊本地震の影響やふるさと納税事業参入自治体の増加などによる寄附金の分散に伴い、寄附金額が減少しているため、想定される寄附金額を見直したことによるものでございます。

次に、17款繰入金、2 項基金繰入金、財政調整基金繰入金3,746千円の減額、ふるさと応援寄附金基金繰入金96,400千円の増額は、今回の補正財源の調整によりまして財源を補正するものでございます。

歳出補正予算の主なものとしたしましては、2 款総務費、1 項総務管理費、7 目企画費のふるさと応援寄附金事業229,553千円の減額は、寄附金額の見直しに伴い、事業経費を減額措置するものでございます。

次に、同じく 8 目原子力行政費の電源立地地域対策交付金基金経費732,633千円の増額、これは電源立地地域対策交付金の申請額が確定したことによって交付金事業を精査し、財源の充当補正をさせていただき、充当残額を玄海町福祉施設整備事業基金等に積み立てるものでございます。

同じく 8 目原子力行政費の原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金基金経費323,368千円の増額は、歳入のほうでも御説明させていただいた玄海 1 号機廃炉に伴う住民生活、経済及び社会に及ぼす影響を緩和するために地域活性化中・長期計画に基づき交付される交付金を財源として、子どもの医療費助成事業に45,000千円、教育関連施設運営事業に278,368千円の基金積み立てを行うものでございます。

次に、6款農林水産業費、1項農業費、8目土地改良費の上場地域農業開発事業17,473千円の増額は、藤ノ平ダムにおける小水力発電施設建設に係る本町負担経費を予算措置するものでございます。

また、歳出予算の全体に給与改定に伴う人件費の補正と入札減に伴う減額を予算措置いたしております。

次に、議案第71号 平成28年度玄海町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ30千円を追加し、補正後の歳入歳出予算の総額を1,162,594千円とするものでございます。

歳入補正予算は、10款繰入金、1項一般会計繰入金の職員給与費等繰入金30千円の増額、これは財源を補正するものでございます。

歳出補正予算は、1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費の人事管理経費28千円の増額、これは給与改定に伴い、勤勉手当の増額を行ったものでございます。

次に、1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費の健康診断委託料2千円の総額、これは今年度より職員の定期健康診断にストレスチェックを追加したことに伴う不足分を予算措置するものでございます。

次に、議案第72号 平成28年度玄海町介護保険特別会計補正予算（第2号）は、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,248千円を減額し、補正後の歳入歳出予算の総額を586,389千円とするものでございます。

歳入補正予算は、介護保険施設整備国庫補助金の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金900千円の増額、一般会計繰入金2,148千円の減額を予算措置するものでございます。

歳出補正予算の主なものは、1款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金900千円の増額は、グループホームつばきの安全対策を強化するため設置された防犯カメラ等の整備に対して、国庫補助金を財源とした交付金を予算措置するものでございます。

次に、議案第73号 平成28年度玄海町下水道事業特別会計補正予算（第2号）は、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2,109千円を減額し、補正後の歳入歳出予算の総額を253,641千円とするものでございます。

歳入補正予算の主なものとしたしましては、1款使用料及び手数料、1項使用料、1目下水道使用料の2,736千円の減額、3款繰入金、1項一般会計繰入金、1目一般会計繰入金584

千円を増額して、予算措置を行うものでございます。

歳出補正予算の主なものとしましては、2款事業費、1項事業費、1目特定環境保全公共下水道事業費の南北処理区内補修工事請負金1,988千円の増額は、南部浄化センター好気槽コントロール盤の液晶タッチパネル故障に伴う補修に係る経費を予算措置するものでございます。

次に、議案第74号 平成28年度玄海町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）は、歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ67千円を減額し、補正後の歳入歳出予算の総額を72,738千円とするものでございます。

これは職員の人件費に係る経費を減額して予算措置するものでございます。

最後に、議案第75号 平成28年度玄海町水道事業会計補正予算（第2号）でございますが、収益的収入及び支出でそれぞれ127千円を減額し、補正後の総額を収入412,302千円、支出400,908千円とするものでございます。

これは職員の人件費に係る経費を減額して予算措置するものでございます。

以上、今定例会に提出しております各議案について議案の提案理由を申し上げましたが、どうか御審議の上、原案どおりの御決定をいただきますようお願い申し上げます。

○議長（上田利治君）

ここでお諮りいたします。本件につきましては、予算特別委員会に付託して審議したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（上田利治君）

御異議なしと認めます。よって、議案第65号 玄海町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定についてから議案第75号 平成28年度玄海町水道事業会計補正予算（第2号）までの以上11件については、予算特別委員会に付託して審議することに決定いたしました。

以上をもって本日の議事日程は全部終了いたしました。よって、本日の会議はこれにて散会いたします。お疲れさまでした。

午前10時42分 散会